

第 1 回有識者会議での委員からの指摘事項

3. 学術的意義や国民及び科学コミュニティの理解

- 前回報告書取りまとめ以降の研究の進展や見通しを踏まえ、ILC を 250GeV で作ることが最適か確認したい。
- 国民や科学コミュニティの理解を得るにあたり、ILC 計画の意義や魅力を十分に伝えることが重要であるが、認知度や理解度についてどのように確認をしているか。また、寄付やクラウドファンディング等、国民からの支援等の動きがあれば、その状況について説明いただきたい。

4. 技術的成立性の明確化

(1) ILC 加速器等

- 前回の有識者会議報告書(2018.7)や日本学術会議の所見(2018.12)において指摘している技術的課題の全ての事項について、①前回報告書とりまとめ以降の進捗(新たに得られた知見等)、②実際の製造、建設までに解決する必要がある課題を資料(一覧表等)にまとめていただきたい。

(2) 土木工事及び環境・安全対策

- 放射線対策や環境・安全対策に関するリスクへの対応について、国民への説明を含めたしっかりとした体制が検討されているか。

6. 人材育成・確保の見通し

- 国際プロジェクトには、国際的な交渉、マネジメント、危機管理等の面において国際的に信頼されるリーダーの存在が重要であるが、ILC 計画においてそのようなリーダーとなる存在について想定されているか。

また、巨額の投資をするにあたり、投資に見合う成果等について国民に説明をし、理解を得られるようなリーダーが必要であるが、ILC 計画においてそのようなリーダーとなる存在について想定されているか。

- 技術者・技能者の育成や技能や技術の継承についての対応状況や考え方。特殊な装置等の生産や管理、維持について見通しがあるか。